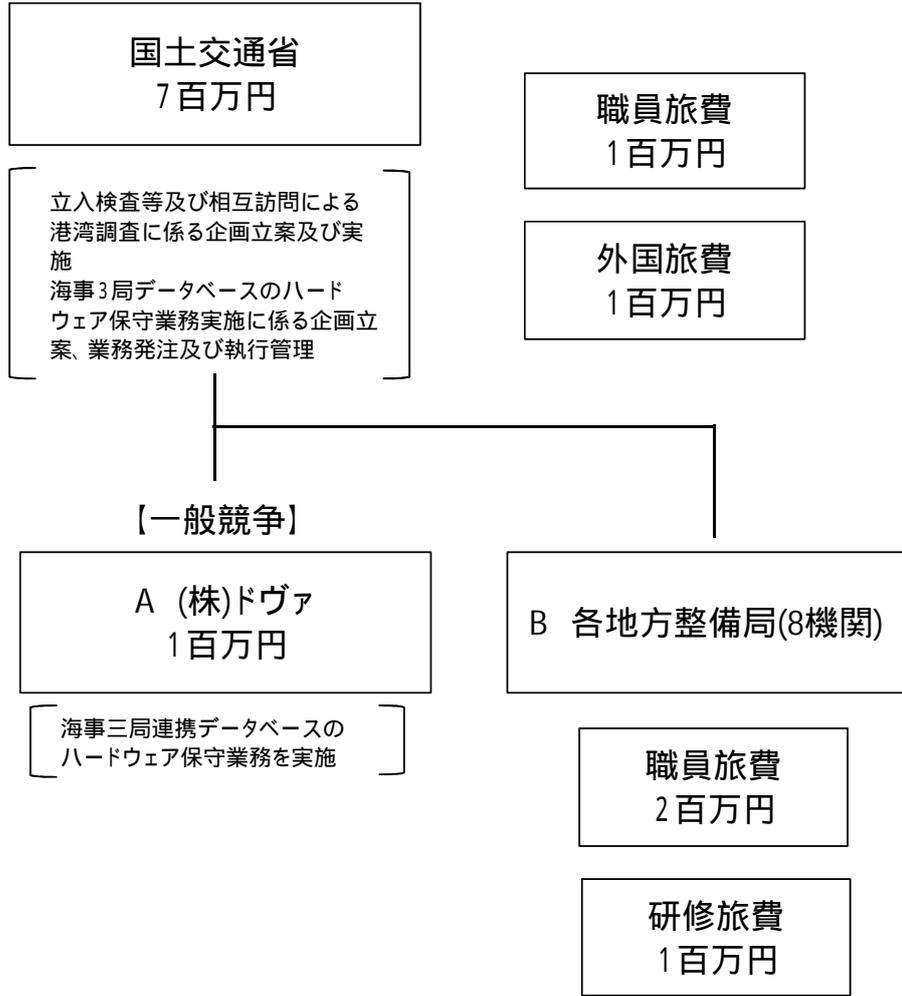


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	改正SOLAS条約等を踏まえた総合的な港湾保安対策		担当部局庁	港湾局			作成責任者
事業開始・終了(予定)年度	H17～		担当課室	総務課港湾保安対策室			室長 魚住 聡
会計区分	一般会計		施策名	6 国際競争力・観光交流・広域・地域間連携等の確保・強化 20 海上物流基盤の強化等総合的な物流体系整備の推進、みなとの振興、安定的な国際海上輸送の確保を推進する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保等に関する法律第1条、第35条第2項、第44条第4項		関係する計画、通知等	総合物流施策大綱(2009-2013)(平成21年7月14日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2001(H13)年9月11日に勃発した米国同時多発テロを契機に改正SOLAS条約が2004(H16)年7月より発効した。同条約に規定された締約政府の義務を果たすため、国は全国統一的な観点から各国国際埠頭施設の管理者が定める埠頭保安規程の承認や立入検査等を行い、同施設の管理者は当該施設に係る保安対策を実施している。このような中で、国による保安対策の確実な実施及び迅速な情報伝達体制の維持等を図ることにより、我が国の国際港湾において全国的に一定の保安水準を確保し、危害行為の防止に努めることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	国が、国際埠頭施設の保安状況の評価、保安規程の承認、国際埠頭施設の管理者が実施している保安対策に対する立入検査等を行う。 また、G8関係国間で保安対策に関して今後取り組むべき課題等を共有し我が国のセキュリティ向上に資するため、諸外国の優れた取組み等に関して、相互訪問による保安調査を実施する。 さらに、効率的・効果的な保安対策業務を行うため、港湾局、海事局、海上保安庁の海事3局が保有する保安情報の共有化(海事3局連携データベース)を図るとともに、必要となるハードウェアの保守を実施する。						
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他		
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	7	7	7	14	11
		補正予算	0	0	0	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
		計	7	7	7	14	11
	執行額	7	7	6			
	執行率(%)	100%	100%	94%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	本事業は、改正SOLAS条約を踏まえた日本の港湾保安対策を実施することにより、テロ行為の未然防止を目的としていることから、定量的な目標を立てて成果を出せるものではない。		成果実績				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	港湾施設の保安対策実施状況の監査(本省分)		活動実績(当初見込み)	92	44	90	() ()
	港湾施設の保安対策実施状況の監査(地方分)		規定(監査を実施した施設に対する規定数)	251	452	254	() ()
単位当たりコスト	(7500円/935規定)		算出根拠	改正SOLAS条約及び国内法に基づき作成した埠頭保安規定数の数が935規定となっており、埠頭保安規定の承認、立入検査の実施や我が国の国際港湾において全国的に一定の保安水準を確保し、危害行為の防止に努めることを目的とした支出状況となっていることから、埠頭保安規定数を予算額総額に対する単位設定とした。			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	総合的物流体系整備推進費						
	諸謝金	0	0				
	職員旅費	4	3				
	外国旅費	2	2				
	総合的物流体系整備推進調査費	9	6				
計	14	11					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> ・立入検査時については、早期に計画を立て、バック旅行や格安航空券の使用に努め、更なる旅費の削減・効率的使用に努めた。 ・相互訪問による保安調査は1回の工程で、複数の港湾調査を実施出来るような計画を早期に立てること及び、調査回数の削減により、旅費の削減及び効率的執行に努めた。 ・海事3局連携データベースは、平成22年度契約については、1社応札であったが、平成23年度契約分については、参加資格等級を広げることにより、2社応札となった。 	
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		<ul style="list-style-type: none"> 立入検査等及び相互訪問による保安調査については、予算の適正な執行の観点から、検査計画及び旅程の工夫等を再検討の上、改善を図るべき。 海事3局連携データベースについては、予算執行の効率化の観点から、さらなる競争性確保に向けた調達方法の検討により改善を図るべき。 	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		<p>立入検査等及び相互訪問による保安調査については、再度、検査計画及び旅程の工夫等を検討し見直し改善を図った。</p> <p>また、海事3局連携データベースについては、機器の調達方法に関して、購入契約からリース契約に見直すことにより経費縮減を図った。</p>	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について記載する。費
 目と使途の双方で実情が分かる
 ように記載)

A.(株)ドヴァ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	海事三局連携データベース保守業務	1			
計		1	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ドヴァ	海事三局連携データベース保守業務	1	1	75%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					